



日赤 五師会災害研修

連携を深め、災害医療の効率化を促進



10月、前橋赤十字病院で五師会災害研修会が開催された。会場には県内の4地区から医師・歯科医師・薬剤師・看護師・柔道整復師が集まり、災害時の医療対応について学び他職種との連携を深めた。



救護者自身の保障も含めた法制度を理解

群馬県で災害が発生した場合には日赤病院が災害の基幹病院となりうる。その場合、医師を中心とした医療に関わる多職種での協働は欠かせない。しかし日赤職員と比較して、一般の医療関係者は災害救護に慣れているとはいえない。こうしたことを踏まえ、中野実日赤院長は、普段救護に接することの少ない人にとって今回の研修会は良い機会であると捉える。「災害救護の全てを理解されるのは難しい。それでも今回の講義について、一つでもいいので頭の中に留めていただき、いざという時に役立ててほしい」と訴えた。

午前には主に災害概論や機器の設定、使用方法など、基礎的な知識や技術を取り入れた各種講義。加えて災害時医

療対応の原則や災害保健医療福祉に係わる法制度など、救護者自身の安全を守るためのものや身分保障について講義が進む。

午後はグループワークによる実習が中心。各地区ごとに班を構成し、ファシリテーターが班ごとに付き添い、的確に導きを示す。無線衛星電話の使用方法和情報伝達、トリアージならびにトリアージタグの記入方法、避難所アセスメントと避難所運営など、皆で意見を出し合い解決策を探った。

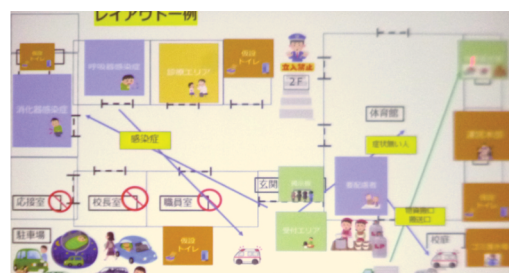


伝えられた情報を正確に把握して簡潔に

無線機を使った実習では、伝えられた情報を書き留め救助に活かすために「正確に情報を把握して、簡潔にまとめ、分かりやすく伝える」という情報

伝達の基本を徹底。普段使われていない専門用語も飛び交うため、日頃からの訓練による慣れがなければ、実際の災害現場での運用は難易度が高くなると実感した。

災害が発生した



場合、現地に駆けつける医療従事者はあくまで支援者であり、救護者が去った後は地域住民で生活していかなければならない。こうしたことを鑑み、中村光信センター長は避難所の声を聞き要望に対応する際の心構えとして、「避難者に寄り添い、自分たちの方法を押すだけオーバースペックになるのではなく、継続的におこなえるものが望ましい」と提案し、地域に則した形での持続可能な生活支援を推奨する。数々の災害救助現場を経験してきた中村センター長の言葉だけに重みがある。

土台となる教育や知識、ノウハウをどのように継承していくのか。災害救護活動に従事した経験は無いが、災害医療に関わる上で、柔道整復師の社会的責任と捉えて、今後も各種研修会に積極的に参加し知識を広げ、有事の際に備えておきたい。

(報告 齋藤泰光)



災害発生時の初動体制について検証

富岡市総合防災訓練

9月、富岡市総合防災訓練が市内の小学校をメイン会場として開催された。60にも及ぶ関連団体が一堂に会して、お互いに連携を確認しながら緊急応急対策を実施。県接骨師赤十字奉仕団として2名が参加し、日赤救護班とともに訓練に従事した。

訓練は、市民の迅速な避難と市職員の災害対策本部設置や防災関連機関との連携訓練を通して、住民の防災意識高揚と自主防災組織の行動力向上を図り、市職員の災害発生時初動体制について検証することを目的としている。

開会式では榎本市長が「災害が発生

した場合には、各団体が一体となって連携し被災の程度を最小限にとどめることができるよう訓練を実施していきたい」と説明。いつ発生するかわからない災害に対して、一人ひとりの防災意識を高めるだけでなく、住民が迅速に対応できるように自治体が意識していく必要があることを訴えた。

県接骨師赤十字奉仕団は多重事故救出訓練に参加。日赤救護班・富岡市総合病院DMATと連携して救護所運営に携わった。訓練の簡素化により、接骨師赤十字奉仕団としてケガ人に対処することはなかったが、それでも他職種と連携し、災害現場に近い環境で訓練ができるのは緊張感が違う。それぞれの立場の人間が知識を習得し、技能の向上が期待できる。災害に備え、今できることを着実に積み重ね、市民の安全の確保に努めていきたい。



BOOK REVIEW

憲法への招待

- 著者 / 波谷秀樹
- 発行所 / 岩波新書



現在は「分断」と「ヘイト」が叫ばれて久しい。フェイクや炎上系・迷惑系で溢れる動画やSNSは、お互いのことを思いやることをせず、議論が成立しない状態。何故でしょうか。本書によれば、共通のプラットフォームが構築されておらず、そのため議論が成立するための土壌としての共通基盤が失われているからだとのことです。

著者は、まず憲法12条を

読むことを薦めています。憲法が保障する自由と権利は「国民の普通の努力によつて、これを保持しなければならない」のであり、また、「常に公共の福祉のためにこれを利用する責任を負ふ」とあります。自由を皆のために使う責任があると言っているのです。

憲法というのは近寄りがたいものと捉えがちです

が、もっと身近な例をあげれば、働き方改革や環境の安心・安全など、私たちの共通の利害に関わる問題も、憲法を通すことで社会階層を超えて連帯して解決に導くことができます。

困難を克服する処方箋として憲法を読み解きながら、立ち止まって考える時なのかもしれません。

共通の利害に関わる問題 連帯で克服

戦後80年の歩み 憲法の現在地は？

11月 休日当番

2日(日)

前橋	神尾接骨院	027-283-2932
伊勢崎佐波	糸井接骨院	0270-62-0329
桐生みどり	かしわせ接骨院	0277-43-6571
	NARI接骨院	0277-76-5005
太田	さいとう接骨院	0277-56-8500
高崎	たかぎ接骨院	027-371-8066
	飯島接骨院	0274-42-6308
	渡辺接骨院	027-346-8688
富岡	あいあい接骨院	0274-64-0052

3日(月)

前橋	てらさき接骨院	027-289-5989
伊勢崎佐波	小暮接骨院	0270-74-7002
桐生みどり	さいとう整骨院	0277-43-8574
	ながや接骨院	0277-74-5938
太田	おいけ接骨院	0277-47-7077
高崎	さまた接骨院	027-372-2178
	接骨院・いっ歩	027-386-2235

富岡	たかばやし接骨院	080-2457-3167
----	----------	---------------

9日(日)

前橋	あおばら接骨院	027-225-2662
伊勢崎佐波	なんの接骨院	0270-50-1117
桐生みどり	ほしの接骨院	0277-76-7042
	中里接骨院	0277-52-6336
太田	タカラ接骨院	0276-31-2543
高崎	問屋町駅前接骨院	027-393-6776
	桜井接骨院	027-344-1500
	たなか接骨院	027-372-0590
富岡	田村接骨院	0274-63-1811

16日(日)

前橋	細野接骨院	027-267-7002
伊勢崎佐波	内山接骨院	0270-65-2518
桐生みどり	吉田接骨院	0277-52-0606
太田	小林接骨院	0276-31-4871
高崎	須藤忍接骨院	027-362-5614
	丸山接骨院	027-323-0185
	とみざわ鍼灸接骨院	027-373-7377
富岡	ひきの接骨院鍼灸院	0274-67-1277

23日(日)

前橋	亀泉接骨院	027-264-0113
伊勢崎佐波	齋藤接骨院	0270-76-4743
桐生みどり	武藤接骨院	0277-22-4667
	アース接骨院	0277-51-4276
太田	関口接骨院	0276-22-8815
高崎	すがわら鍼灸整骨院	027-321-5110
	くすの樹接骨院	027-363-0411
	湯浅接骨院	027-346-5678
富岡	中村接骨院	0274-74-6200

24日(月)

前橋	なお接骨院	027-288-0504
伊勢崎佐波	松島接骨院	0270-25-0018
桐生みどり	清水接骨院	0277-47-6386

太田	長谷川接骨院	0276-46-1358
高崎	桜井接骨院	027-344-1500
	おおるい接骨院	027-384-8607
	高木接骨院	027-387-2186
富岡	ほさか鍼灸接骨院	0274-64-5638

30日(日)

前橋	かすかわ接骨院	027-289-6933
伊勢崎佐波	上飯島接骨院	0270-65-0950
桐生みどり	中島鍼灸接骨院仲町	0277-43-4117
	高橋接骨院	0277-52-0846
太田	須永接骨院	0276-48-8008
高崎	高橋接骨院	027-326-5111
	あらい接骨院	027-386-6002
	にしざわ接骨院	027-386-8686
富岡	鶴田接骨院	0274-64-3301

<http://www.sekkotuin.or.jp/kyujitu/index.html>

検索